

 **FUKOKU**

株式会社フコク
2024年6月26日

株式会社フコク 第71回定時株主総会 事業報告

 **70th**
ANNIVERSARY **Yes, We Do!**

Copyright © Fukoku Co., Ltd.
All Rights Reserved.

ただいまより、第71期事業報告についてご報告いたします。

1. 当事業年度の状況

はじめに、当事業年度の状況についてご説明いたします。

1. 当事業年度の状況

事業に影響を及ぼした要因

国際的な情勢
不安の長期化



資源高騰
・原材料高



自動車生産調整
の影響緩和



自動車生産調整の影響緩和

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

当期の事業環境におきましては、世界的な情勢不安が長期化する中、中国における景気低迷、資源価格高騰による原材料費の高止まり等の影響を受けました。

一方で、半導体供給不足の解消により、自動車の生産調整の影響が緩和されるなど、当社の経営にプラスとなる要因も現れました。

1. 当事業年度の状況

財産及び損益（連結）

（単位：百万円）

	第68期 (2021年3月期)	第69期 (2022年3月期)	第70期 (2023年3月期)	第71期 (2024年3月期)
売上高	63,214	71,504	82,318	88,847
営業利益	693	1,749	2,010	3,646
経常利益	1,435	2,522	3,139	4,094
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,254	2,084	2,135	3,050
1株当たり 当期純利益(円)	75.69	127.24	132.61	189.35
総資産	63,817	65,039	71,530	76,033
純資産	32,321	34,377	37,952	42,010

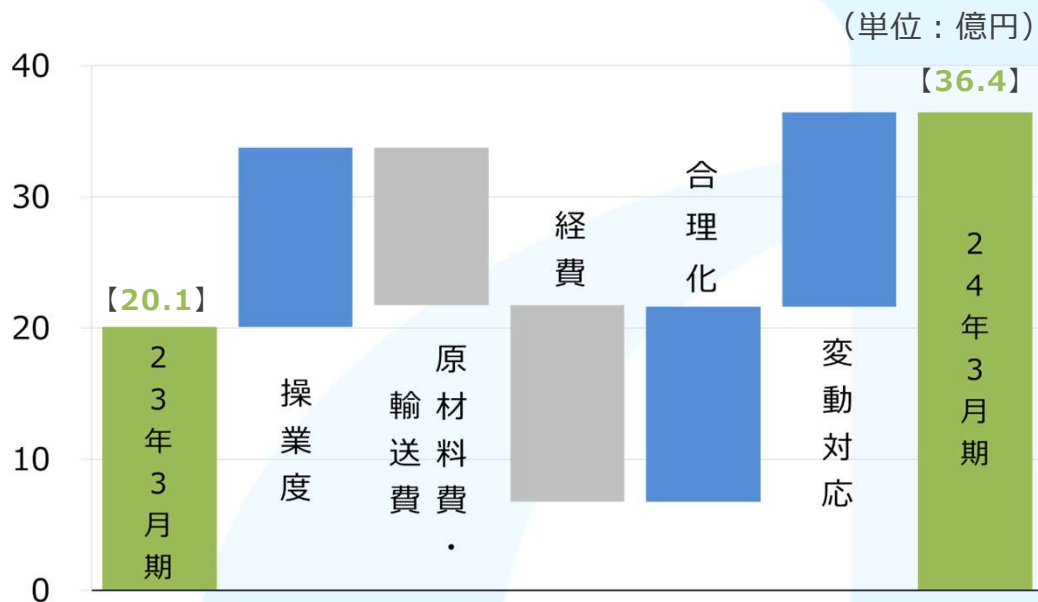
株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

当期の連結業績はご覧の通りです。

売上高は888億円、営業利益は36億円と増収増益となりました。
また、1株当たり当期純利益は、189.35円と昨年より大きく増加しております。

1. 当事業年度の状況

差異要因_連結営業利益 (前年差)



株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

こちらは、連結営業利益の前年比増減を要因別に分析したグラフです。

原材料費や経費が増加しましたが、売上増に伴う操業度益や、合理化、変動対応などにより増益を達成いたしました。

2. 2025年3月期業績予想

続いて、2025年3月期の業績予想についてご説明します。

2. 2025年3月期 業績予想

業績予想 (連結)

(単位：百万円)

	2024年 3月期		2025年 3月期	
	実績	予想	増減額	増減率
売上高	88,847	93,000	+4,153	+4.7%
営業利益	3,646	4,800	+1,154	+31.6%
経常利益	4,094	4,800	+706	+17.2%
当期純利益	3,050	3,750	+700	+22.9%

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

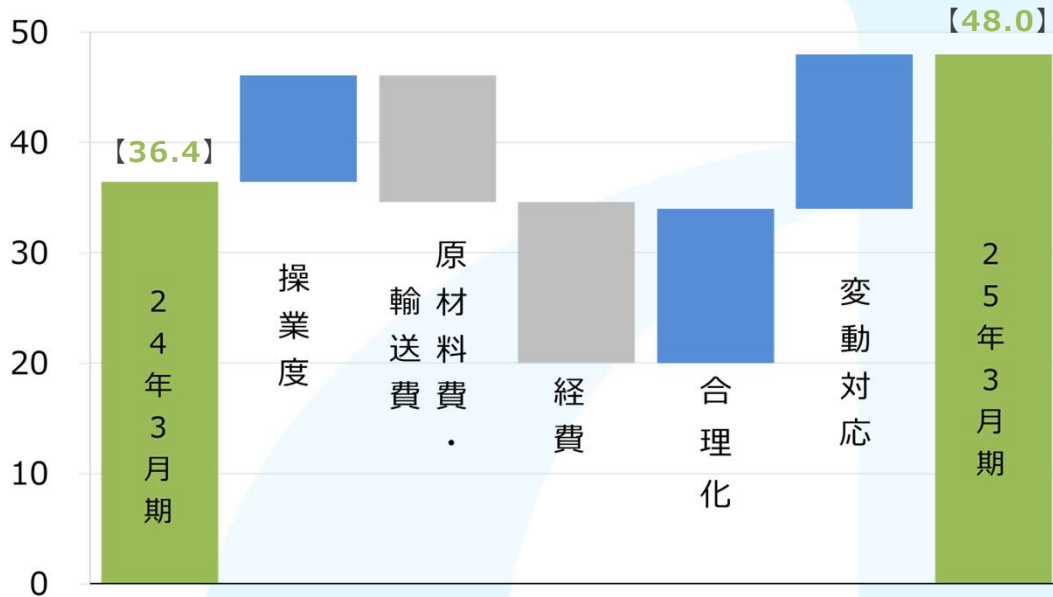
当期の業績予想は、売上高930億円、営業利益と経常利益は共に48億円、当期純利益37億5千万円を計画しております。

外部環境は不透明な状況が当面続くと予想されますが、自動車メーカーの受注回復が見込まれる中、拡販努力、合理化、原材料価格等の変動対応活動をやり遂げて、増収増益を実現してまいります。

2. 2025年3月期 業績予想

差異要因_連結営業利益 (前年差)

(単位：億円)



株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業利益の前年比の増減要因は、ご覧の通りです。

前年より続く経費増による落ち込みを、採算改善の努力や変動対応の取り組みで押し上げ、操業度益の増加分を利益として確保できるような経営を行ってまいります。

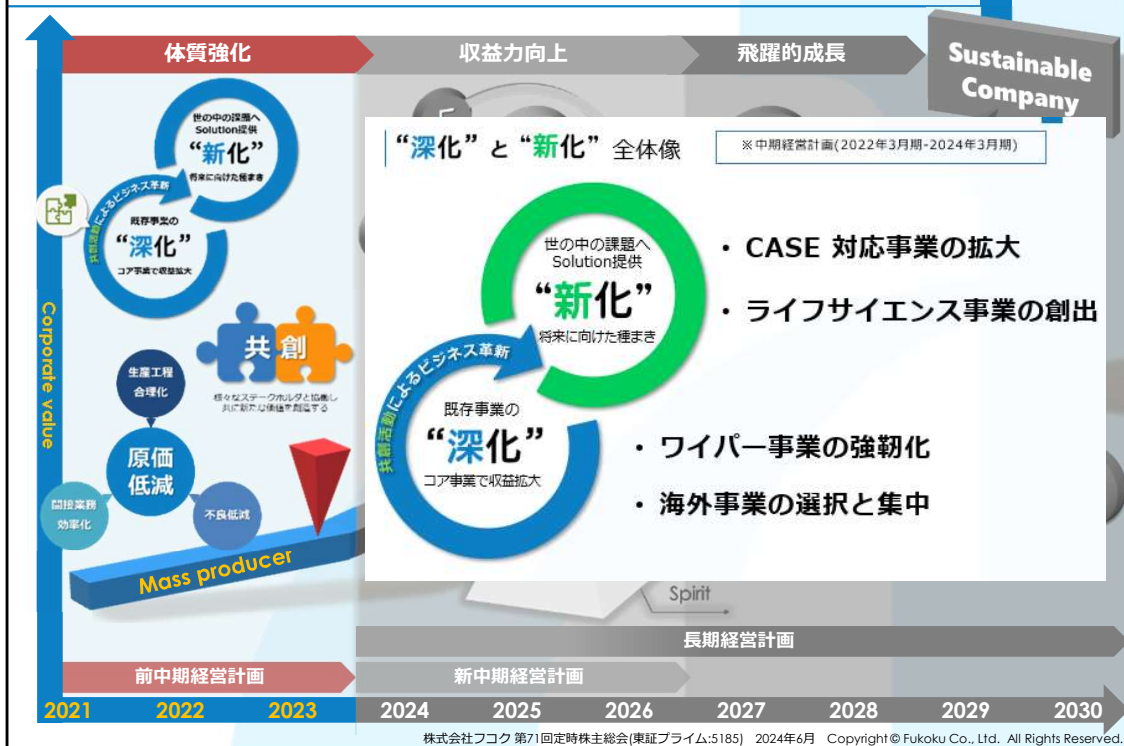
3. 前中期経営計画の振り返り (2022年3月期-2024年3月期)

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

ここからは、中期経営計画についてご説明申し上げます。

現在進行中の計画についてお話する前に、前中期経営計画について振り返ります。

3. 前中期経営計画の振り返り



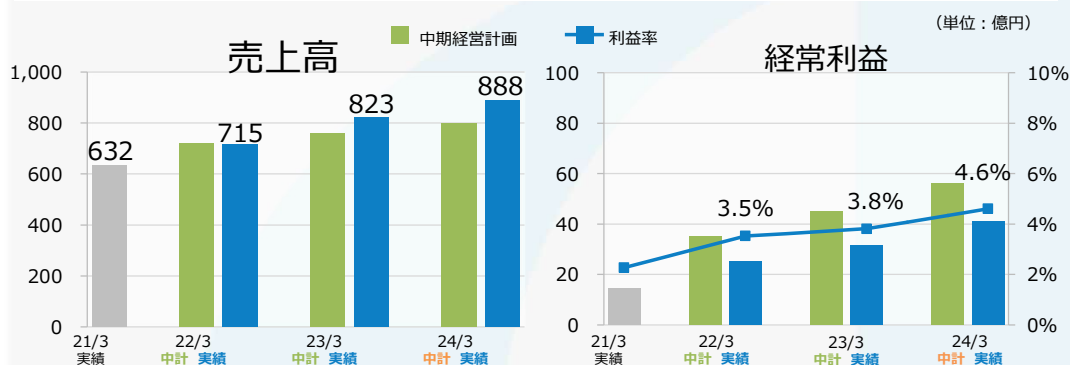
前中期経営計画は、2022年3月期からの3か年を対象に、「体質強化」を目的とし、収益拡大をはかる「深化」、将来に向けた種まきを行う「新化」、この2つの方策に、スピード感をもって取り組んでまいりました。

並行して、徹底した「原価低減活動」にも取り組み、経営の土台作りを完了いたしました。

3. 前中期経営計画の振り返り

経営数値（連結）

	目標値（24年3月期）	実績値（24年3月期）
連結売上高	800億円	888億円
経常利益率	7%	4.6%
ROE	8%	8.1%
連結配当性向	30%	31.7%



株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム5165) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

数値実績につきましては、半導体不足に伴う車両減産や原材料価格高騰など外的要因の影響が計画策定時の想定よりも大きく、経常利益率は目標には届きませんでした。

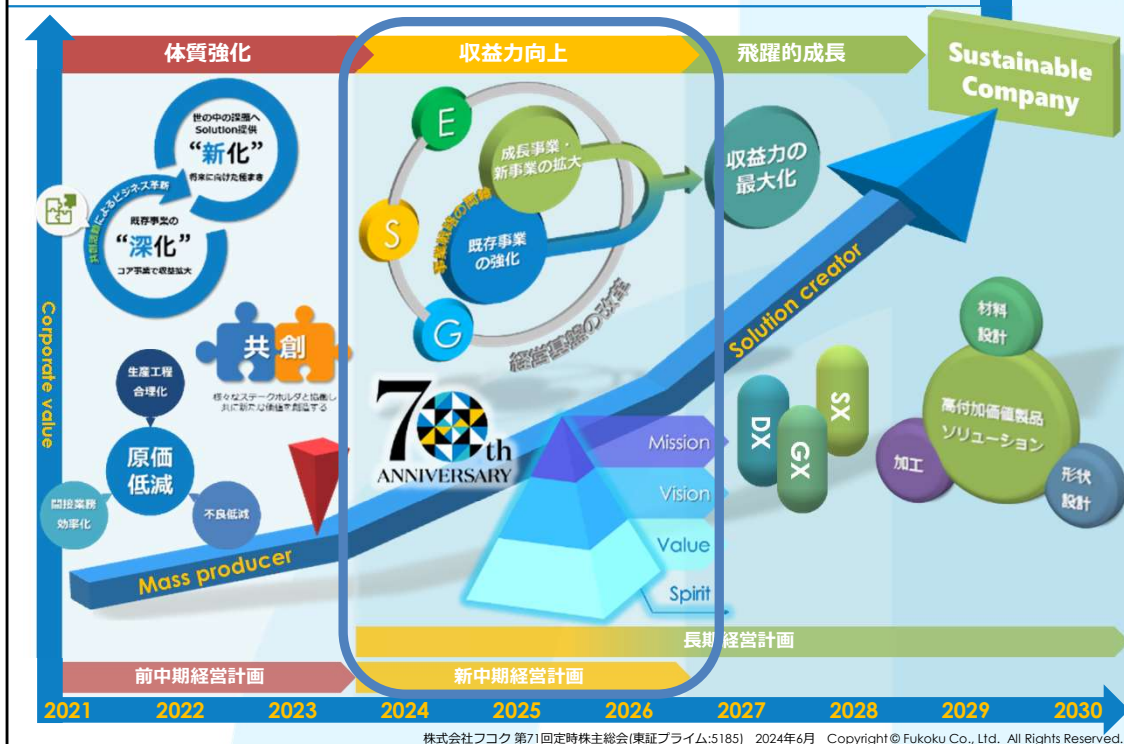
しかし、2024年3月期までの3年間は右肩上がりの成長を続け、売上高、ROEは目標を達成いたしました。

4. 新中期経営計画 (2025年3月期-2027年3月期)

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

ここからは、2025年3月期から3年間の新中期経営計画についてご説明いたします。

4. 新中期経営計画2026_全体像

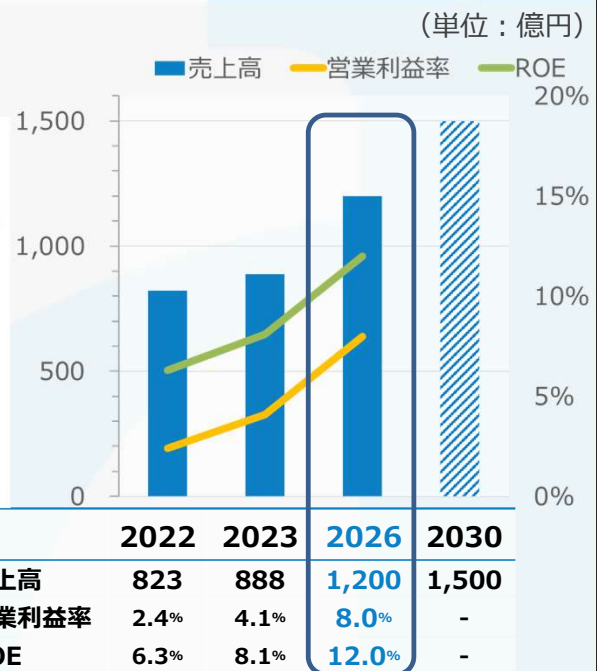


こちらは、新中期経営計画2026の全体像です。

「体質強化」から一歩進み、「収益力向上」を目指すフェーズに入りました。

4. 新中計2026_戦略スキーム

戦略スキームと目標値



株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

新中期経営計画では「既存事業の強化」と「成長事業・新事業の拡大」を両輪とする事業戦略に加え、ESGの各観点を中心とした経営基盤の改革に取り組むことによって「収益力の最大化」を狙います。

数値目標は、最終年度である2027年3月期に売上高1,200億円、営業利益率8%、ROE12%と設定いたしました。

4. 新中計2026_事業戦略の両輪

既存事業
の強化

既存事業 の強化

ソリューションビジネス
による拡販

強い成長地域
への拡販

ものづくり力変革と
人材育成強化

成長事業・
新事業の拡大

成長事業・ 新事業の拡大

ライフサイエンス製品
の拡大

CASE市場
への拡大

インダストリアル向け
製品等の拡大

各事業戦略の施策はご覧の通りです。
主な施策についてご説明いたします。

既存事業
の強化

ソリューションビジネスによる拡販

■ シミュレーション設計



■ R&D機能の充実、
生産能力の増強

 上海
テクニカルセンター

 タイ
生産能力増強

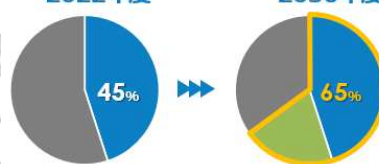
 ワイパー
仮想設計ソフト

FWIP-SIM
FUKOKU WIPER SIMULATOR

OEMグローバルシェア

2022年度

2030年度



生産体制強化・開発期間短縮でシェアを盤石に

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

「既存事業の強化」のうち、「ソリューションビジネスによる拡販」につきましては、当社のコア事業である「ワイパー事業」の強靱化を進めております。

日本では当社独自のワイパー仮想設計ソフトの性能を向上し、中国ではテクニカルセンターを基点に現地のお客様と共に開発・評価を行うなど、開発・設計段階から積極的に参画することで、EV化時代の最優先課題である開発期間の短縮に貢献しております。

ソリューション提供による共創活動を通して、グローバルシェアNo.1の座をさらに盤石にしていまいります。

既存事業
の強化

ものづくり力変革と人材育成強化

生産状況の可視化



ビスカスマウント組立ライン

生産実績の自動取得



ワイパー検査

工場のペーパーレス化、IoT進化

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

続きまして、ものづくり力変革の事例です。
これまでDX関連の投資を進めて参りましたが、従来の紙ベースの作業をペーパーレス化し、工場におけるIoTを進化させております。

成長事業・
新事業の拡大

インダストリアル向け製品等の拡大



宇宙空間の厳しい環境下でも安定性能を発揮

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

ここからは「成長事業・新事業の拡大」につきましてご説明いたします。
「インダストリアル向け製品等の拡大」の一例として、航空宇宙関連の製品をご紹介します。

こちらは当社の衛星用アイソレータという防振ゴム部品です。
宇宙空間の厳しい環境下においても安定した防振性能を発揮し、
人工衛星の観測機能をサポートします。

成長事業・
新事業の拡大

CASE市場、ライフサイエンス製品への拡大

バッテリーホールドシート

放熱ギャップファイラー

更なる拡販、
新構造開発

バッテリーセル

※ 一般的なバッテリーモジュールのイメージ図

韓国の
現代自動車
向け量産開始

再生医療分野、
化粧品原料で
拡販

ライフサイエンス製品

2023年6月に上市
量産体制確立・拡販



CASEやライフサイエンスなど新分野でも挑戦継続

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

CASE市場、特にEVへの対応として、トヨタ自動車の電気自動車bZ4Xに採用された、バッテリーホールドシートの拡販と新構造の開発を進めております。

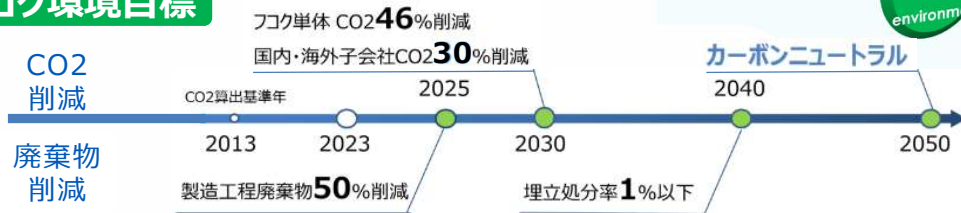
放熱ギャップファイラーはバッテリーセルの効率的な冷却に機能を発揮する製品で、韓国の自動車メーカー向けに量産を開始しました。

ライフサイエンス製品においては、細胞培養バッグや培養培地、順化培養液など、再生医療分野や化粧品原料などにおいて拡販を進めております。

細菌検査時間を大きく短縮する迅速細菌検査キット「RaST-TAS（ラストタス）」も引き続き商品開発に取り組んでいます。

4. 新中計2026_経営基盤の改革

フコ環境目標



活動進捗



目標達成に向け、着実に活動推進

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

ここからはESGの各観点から、経営基盤の改革の進捗をご説明いたします。

Eの環境については、ご覧のような環境目標を設定し、廃棄物やCO₂の削減を進めております。工場の電力を太陽光発電へ順次転換するほか、環境配慮型製品・材料の開発にも取り組んでおり、自然由来素材によって環境負荷を低減するカーボンニュートラルワイパーを開発中です。

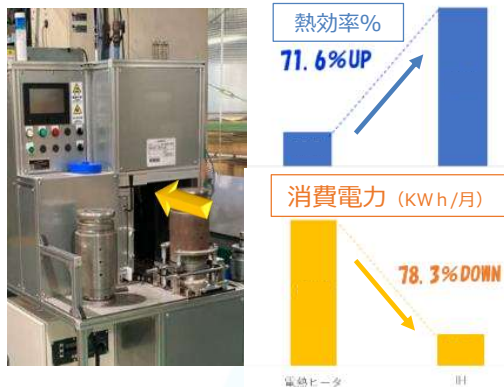
4. 新中計2026_経営基盤の改革

環境配慮と合理化の取り組み



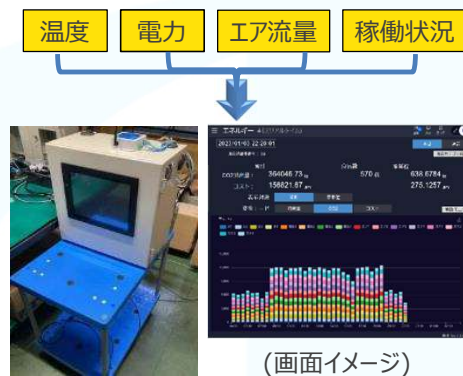
■ IH式金型予熱機

金型を温める熱効率をアップ
消費電力・Co2排出量を削減



■ 移動式エネルギー管理システム

ライン・設備単位のエネルギー使用量可視化
省エネ対策ポイントを明確化



合理化と共に、循環型社会への貢献

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

こちらは当社が開発した機器で、
金型を温める際の熱効率向上による消費電力とCO2排出量の削減や、従来よりも小さな単位でエネルギー使用量を可視化するなど、環境配慮と併せて合理化も実現しております。

人材育成強化

■ 人とくるまのテクノロジー展2024 in YOKOHAMA



幅広い視点で、自ら深く考え動く人材の育成

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

Sの社会、人材育成強化の一例として、先月横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展」の様子をご紹介します。

若手社員を中心とする当社スタッフが社内の勉強会や技術展示会で培ったプレゼン力を十分に発揮し、3日間で延べ約1200人の当社ブースご来場者へ当社の技術の魅力を詳しく説明いたしました。

このような取り組みを通して、幅広い視点で自ら深く考え動く人材の育成を目指してまいります。

4. 新中計2026_経営基盤の改革

ステークホルダーとの対話促進・対外発信力強化



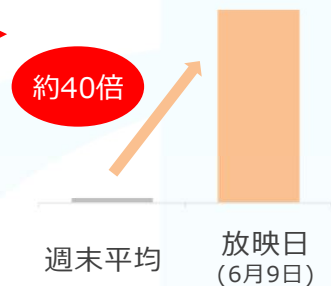
■ 広報活動の強化（メディア露出の増加）

2023年7月～2024年6月 メディア出演・掲載

TBSテレビ『がっちりマンデー!!』 24年6月
テレビ東京『知られざるガリバー』 23年11月
日本テレビ『世界一受けたい授業』 24年1月
日経CNBC『朝エクスプレス「トップに聞く」』 24年3月
日刊自動車新聞（23年9月～12月連載含め計4回掲載）
日経ビジネス 23年10月
月刊「事業構想」 24年3月



当社Webサイトアクセス数



■ 機関投資家との対話増加

個別面談件数
年度別推移



知名度向上を目指し、継続強化

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

Gのガバナンスについては、特にステークホルダーとの対話の促進、対外発信力の強化に注力いたしました。従来よりもメディア露出の機会を増やしたことで、当社ホームページへのアクセス数も増えております。

また、機関投資家との個別対話の機会も増やしております。引き続き、広報・IR活動を強化し、当社の認知度・知名度の向上を図るべく、努めてまいります。

5. 株主還元

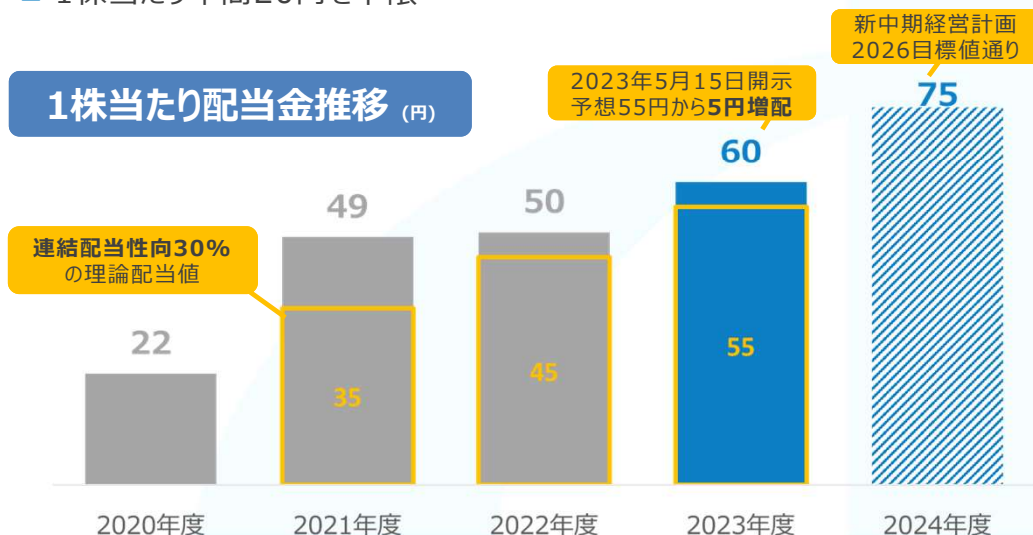
ここからは、株主還元についてご説明いたします。

5. 株主還元

配当政策の基本方針

- 連結配当性向30%を目安とした安定配当を継続
- 1株当たり年間20円を下限 ※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

1株当たり配当金推移 (円)



配当政策は、連結配当性向30%を目安に安定配当を継続する基本方針に基づき、今期の期末配当金は直近の配当予想から5円増配の32円50銭、年間配当金は60円といたしました。

また、2025年3月期の年間配当金は、新中期経営計画の目標値通り、1株当たり75円を計画しております。

5. 株主還元

継続したPBR1倍以上に向けて

PBR推移 (倍)



継続したPBR1倍以上に向けて、

- ・ 利益向上
- ・ IR活動強化
- ・ 資産効率向上

中計の確実な実行、積極的情報発信 → 企業価値向上

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社は、課題であった「PBR1倍割れ」の改善に向け取り組んで参りましたが、今月初めてPBR1倍以上を達成いたしました。今後もPBRは最低1倍以上の適正水準の継続を目指し、企業価値向上に向けて、中期経営計画の確実な実行と経営情報の積極的な発信を行ってまいります。

6. 新ミッション・ビジョン・バリュー

株式会社フコク 第71回定時株主総会(東証プライム:5185) 2024年6月 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

最後に、当社の新しいミッション・ビジョン・バリューをご紹介します。

6. 新ミッション・ビジョン・バリュー

創業70周年の節目に新ミッション・ビジョン・バリューを制定

70年目の宣言

Mission
あらゆる願いを、感動に変える。

Value
挑もう
粘ろう
誇ろう
信じよう
褒めよう
話そう

Vision
深い提案力と
確かな解決力で、
心から愛される
企業へ

Spirit
あらゆる願いを、感動に変える。
深い提案力と確かな解決力で、心から愛される企業へ。
① 挑もう ② 粘ろう ③ 誇ろう
④ 信じよう ⑤ 褒めよう ⑥ 話そう

Yes, We Do!

想いを共有し、100年企業を目指す

昨年、創業70周年を節目として、新しいミッション・ビジョン・バリューを制定いたしました。

創業の精神である「Yes, We Do!」をベースに、ミッションである「あらゆる願いを、感動に変える。」を頂点に、当社の強みを織り込んだビジョン、従業員の拠り所となるバリューで構成しております。

全員で想いを共有し、100年企業を目指してさらに飛躍するため、今後も努力してまいります。



以上で第71期事業報告を終了いたします。